



富士吉田市 企画部 秘書課 秘書担当  
主事

渡邊 杏奈

Anna Watanabe



私は令和6年4月に富士吉田市の職員として採用されました。

私が配属された秘書課では、市長及び副市長のスケジュール管理や来客対応、文書作成等の秘書業務を行っています。

私が業務の中で関わる方は市民の方々や庁内の職員だけではなく、他市町村や県内外の企業の方など、自分より年齢もキャリアも上の方が多くいます。このため、接遇マナーや言葉遣い、所作ひとつひとつに気を遣い、緊張感をもって取り組んでいます。

まだまだ知識不足で一進一退の毎日ですが、常に市長、副市長のそばに控えていることで、市政全体の動向や戦略について理解を深めることができ、全体を俯瞰できる視点を持ちながら業務に携わることができることにとてもやりがいを感じています。

富士吉田市は自然や織物産業、富士山信仰に根付く伝統と文化、地元の人々のあたたかさやおもてなし溢れる魅力の詰まった地域です。そこに住む方々と観光にお越しいただく方々が、安心して幸せに過ごせるように、市政を担う長のもと、日々自覚と責任を持って職務に努めていきたいと思っています。

## 市町村職員



山梨市 地域資源開発課  
ふるさと納税推進室  
主事

松本 梢

Kozue Matsumoto



私は令和6年4月から山梨市職員として採用され、地域資源開発課ふるさと納税推進室に配属となりました。主な業務内容は、寄附者様からの問い合わせ対応や、寄附情報の管理や各種証明書の発行、返礼品提供事業者の対応などの事務です。

私たちの業務は、返礼品提供事業者の方々に関わる機会が多く、行政職でありながら民間企業に少し近いのではないかと感じています。返礼品提供事業者の方から返礼品に対する熱意や想いを伺う中で、「寄附者様に喜んでいただけるよう返礼品を充実させ、事業者様にも楽しんで仕事していただきたい」と強く感じるようになりました。

また、ふるさと納税推進室には、毎日寄附者様から様々な問い合わせがきます。知識の乏しさから、満足していただける対応ができないことが多々あります。先輩方から多くのことを学び、寄附者様一人ひとりに寄り添った対応ができるよう努めています。

ふるさと納税を通してたくさんの方に山梨市の魅力を伝え、地域活性化に貢献できるよう、日々精進していきます。



忍野村 子育て支援課 児童福祉係  
主事

宮下 昂大

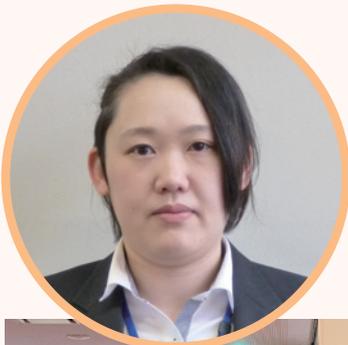
Kodai Miyashita



私は令和6年度に忍野村の職員として採用され、子育て支援課に配属となりました。母子父子福祉に関することが主な担当でひとり親で悩む家庭の相談や児童扶養手当とひとり親家庭医療費助成の認定と請求処理をしています。

相談業務では各家庭に様々な不安事があり、解決するための方法を検討、提案し個々の住民に寄り添った支援につながるよう努めています。また、経済面で不安を軽減するために上記の手当て、医療費助成を行っています。どちらも認定が必要でそれぞれの家庭によって生活状況や環境が異なるので難しい点が多いですが適切な認定を自分1人で行えるように日々努力しています。

社会人1年目ということで仕事はもちろん仕事以外にも学ぶことがたくさんある毎日です。社会人として1人前になるために、子育て支援課の仕事以外の仕事にも積極的に取り組み自分の力にしたいと思います。こうして得た知識や経験を活かし、住民の皆様信頼され地域に貢献できるように日々の業務に励んでいきます。



山中湖村 観光課 観光推進係  
主事

佐藤 阿弓

Ayumi Sato



私は、令和3年4月に山中湖村役場の職員として採用されました。

私が担当している観光課の観光推進係は、観光情報の発信や観光客の誘致に向けた事業を行っており、首都圏での観光キャンペーンへの参加や、旅割事業・教育旅行誘致事業などに取り組んでいます。また、山中湖に生息する白鳥の保護や管理も担当として携わっています。

山中湖村役場の観光課は正面玄関の前に配置されており、住民の方々のみならず国内外からの観光客の方へご案内をする機会が多くあります。

このように、観光課の仕事内容は多岐にわたり、職員にも幅広い視野と知識が求められます。観光客だけでなく、村民や観光業に従事している事業者にも満足してもらえる持続可能な観光地域づくりを目指して日々業務に取り組んでいます。

山中湖村の魅力といえば、やはり綺麗な湖と白鳥、そして富士山です。豊かな自然に私も日々心を癒されています。この魅力を山中湖村内外に精一杯伝えられるようまだまだ未熟な私ではありますが、山中湖村の顔としての自覚を持ち、日々仕事に邁進していきたいと思っています。

# 市町村振興協会たより

## 新市町村振興宝くじ(ハロウィンジャンボ及びクイックワン(9月発売回号))収益金について

新市町村振興宝くじ(ハロウィンジャンボ及びクイックワン(9月発売回号))の収益金については、全額を市町村に交付し、市町村の明るいまちづくりや住民福祉向上のための事業に活用されております。

### ■販売実績と収益金配分額

令和5年度のハロウィンジャンボ宝くじの販売実績は、前年度比0.44%増の約373億円となり、これに伴う山梨県への収益金配分額は、151,318千円(4.74%減)となりました。

前年度に比べ販売実績額は増加しましたが、配分額が減少したことについては、販売に係る固定費の比率が高くなっていることや、高額当せん金が想定以上に出たこと等により、交付額が減少しました。

また、インターネット専用全国自治宝くじ「クイックワン」(9月発売回号)の販売実績は、約12億1千万円で、これに伴う山梨県への収益金配分額は354万円となり、両宝くじの収益金を合わせた154,861千円が、市町村交付金として、市町村に交付されました(表1参照)。

なお、市町村への交付に当たっては、均等割40%、人口割60%の配分基準により交付しております。

※均等割は都道府県への配分に係る市町村数の算定に応じて算出。

### ■交付金の使途

交付金の使途については、地方財政法第32条に定める事業に充てることとされており、令和5年度の県内市町村の使途については、芸術・文化振興、環境の保全・創造、少子・高齢化対策等に活用されています(表2参照)。

### ■令和6年度ハロウィンジャンボ宝くじ発売について

令和6年度は、1等前後賞合わせて5億円のハロウィンジャンボ宝くじ(発売総額360億円・12ユニット)及び1等前後賞合わせて5,000万円のハロウィンジャンボミニ(発売総額150億円・5ユニット)が10月17日(木)まで同時発売されています。

当協会では、市町村にとって貴重な財源でありますハロウィンジャンボ宝くじの販売額の確保に向け、市町村ホームページの有料バナー広告への掲載や新聞、ラジオ等のメディアを活用した広報、また、地元プロバスケットボールチーム・山梨クィーンビーズと協力したPR動画を、市町村デジタルサイネージで放送等するなど、各種広報宣伝活動に努めて参りますので、引き続き宝くじの広報にご支援、ご協力をお願いいたします。

なお、宝くじの収益金は県内の販売実績等に応じて交付されるため、県内の売り場又は宝くじ公式サイトでお買い求めください。

発売期間：9月17日(火)～10月17日(木) 抽せん日：10月25日(金)

宝くじ  
公式サイトは  
こちらから！

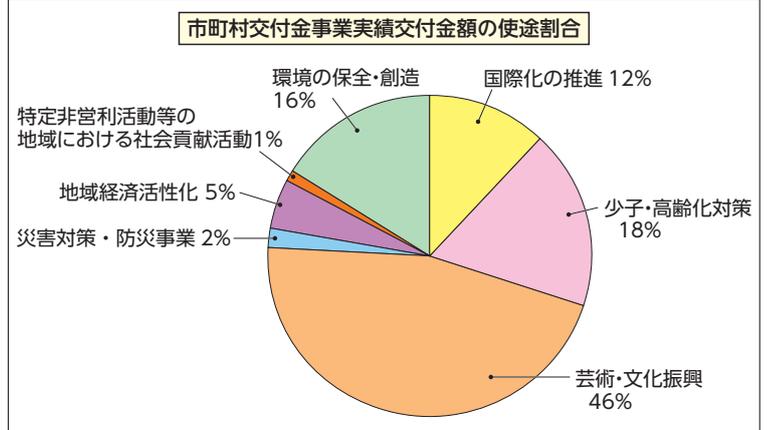


表1 令和5年度新市町村振興宝くじ市町村交付金一覧表 単位：円

甲府市	24,071,000	市川三郷町	4,441,000
富士吉田市	7,021,000	早川町	1,809,000
都留市	5,241,000	身延町	3,763,000
大月市	4,265,000	南部町	2,825,000
韮崎市	5,017,000	富士川町	3,850,000
南アルプス市	11,259,000	昭和町	4,081,000
甲斐市	11,180,000	道志村	1,867,000
笛吹市	12,043,000	西桂町	2,146,000
北杜市	9,845,000	忍野村	2,742,000
上野原市	4,819,000	山中湖村	2,277,000
山梨市	6,590,000	鳴沢村	2,007,000
甲州市	6,109,000	富士河口湖町	5,753,000
中央市	6,336,000	小菅村	1,761,000
		丹波山村	1,743,000

市町村合計 154,861,000

表2 令和5年度ハロウィンジャンボ宝くじ市町村交付金(154,861千円)の使途





渡辺 慧さん

Kei Watanabe

(道志村 住民健康課 保健衛生担当  
主任)

## 「道志村ならではの子育て支援事業」



住民健康課で保健衛生担当を5年務めています。

本村の人口は令和6年4月現在で1,535人と、年々人口が減少しています。人口減少に歯止めをかけるため、他市町村にはない道志村独自の子育て支援事業として「子育て支援パッケージ化事業」がスタートしました。その中で私が担当する「不育症治療費等助成事業」「すくすく子育て支援事業」について紹介します。

子どもを望む夫婦にとって不育症治療費は高額であるため、治療費の半分を助成することにより経済的支援を行います。令和5年度に助成申請した方は、治療が順調に進み無事に出産されました。他の母子保健事業で関わる中で、その方が楽しそうに子育てする姿を見て、制度化して良かったと心から感じます。

すくすく子育て支援事業では、1歳になるまでミルクを、2歳になるまでオムツを支給しています。子育て支援員による訪問や道志村社会福祉協議会で配布を行い、経済的支援だけでなく、多くの関係者が関わることで相談しやすい体制の構築を目指します。

今後も妊娠前から産後の切れ目ない子育て支援を行い、子育てするなら道志村!と思ってもらえるような施策を展開していきたいです。

## AFTER NOTES

### 編集後記

今回の特集は、「これからの地域交通」をテーマに、県及び県内3市の取り組みを紹介するとともに、臨時トピックとして、山梨県の共生社会実現に向けた取り組みについて掲載しました。

また、ハロウィンジャンボ宝くじの令和5年度の市町村交付金とその用途について報告しましたが、市町村のまちづくりや住民の福祉向上のための事業に活用されています。

今年のハロウィンジャンボ宝くじは、10月17日まで発売しておりますが、市町村にとって貴重な財源である本宝くじの販売増進が図られるよう、引き続きご協力をお願いします。

最後に、特集をはじめ各コーナー等本号の発行にあたり、ご多忙の中執筆いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

### 市町村職員情報誌「やまなし自治の風」編集委員会

役職名	団体名	補職名	氏名
委員長	山梨県市長会	事務局長	村松 広幸
副委員長	甲斐市	経営戦略課主査	服部 慧太
委員	富士吉田市	企画課主査	奥脇 卓哉
	都留市	企画課主任	山口 涼
	笛吹市	企画課主査	荻野 誠亮
	北杜市	企画課主幹	清水 良一
	市川三郷町	総務課主任	芦沢 祐弥
	昭和町	総務課主任	米倉 武志
	道志村	ふるさと振興課主査	山口 瑠美
	西桂町	総務課主事	郷田 敦子
	丹波山村	地域創造課主任	矢嶋 澄香
	山梨県	市町村課主任	堀池 将展
山梨県町村会	振興課主任	田中 義晃	

# ハロウィンジャンボ

# 5億円

1等・前後賞合わせて  
1等3億円、前後賞各1億円

当せんの  
チャンス広がる!

# ハロウィン ジャンボミニ

# 5千万円

1等・前後賞合わせて  
1等3,000万円、前後賞各1,000万円



この宝くじの収益金は市町村の  
明るいまちづくりや環境対策、高齢化  
対策など地域住民の福祉向上の  
ために使われます。

パソコンや  
スマホで  
ネット購入!

宝くじ公式サイト <https://www.takarakuji-official.jp/>

発売期間 9月17日(火)~10月17日(木)  
抽せん日10月25日(金)

2024年新市町村振興宝くじ (公財)山梨県市町村振興協会 各1枚300円

宝くじは  
山梨県内で  
買ってね!!



ご当地クーちゃん  
山梨県

ハロウィンジャンボ宝くじとハロウィンジャンボミニが、10月17日(木)まで2種類同時発売されています。

この宝くじの収益金は、県内の販売実績等に応じて配分され、山梨県市町村振興協会を通じて全額市町村へ交付され、市町村の明るいまちづくりや環境対策、高齢化対策など地域住民の福祉向上のために使われます。